

地域と大学等の連携のもと、滞在型の地域づくり活動に取り組むべく環境整備を進めようとする地域の取組を支援する。（通称：「域学連携」実践拠点形成モデル事業）

1. 趣旨

地域再生を積極的に推進するため、地域と大学の協働プロジェクトにより、大学の秋入学導入もにらみながら、地域力創造人材の育成と自立的な地域づくりを推進する仕組みの構築を図る。

また、本事業を通じて、地域コミュニティの再生、地域資源の発掘、地域での産業創出、観光を通じた地域活性化等を図ることで、自らの発想で行う特色を持った地域づくりを支援する。

2. 事業の概要

○事業実施者

地方公共団体、大学、地域住民、NPO法人、地元企業等による連携主体

○モデル実証事業

地域に所在する施設等を拠点として、首都圏や京阪神等(当該都道府県域外)の大学生が地域に滞在し、地域住民とも交流を図りながら地域づくり活動を行おうとする地域の新たな取組を支援する。

○調査事業

モデル実証事業で浮かび上がった課題等を整理し、その成果等について検証するとともに、地域づくり活動の拠点形成を全国的に展開させるためのノウハウや方策を取りまとめる。

また、有識者によるシンポジウムも開催する。

○本事業により目指す姿

将来的に、複数大学の連携による単位互換や入学前単位認定制度を活用し、四半期で8単位程度が取得可能なフィールドワークの拠点を全国各地に形成するとともに、地域実践活動を通じ、社会において即戦力となる創造的人材の育成にも資する。

3. 所要経費：20百万円

